

移住者向け住宅の整備に向けた住宅希望アンケート調査
報告書

立科町 企画課 地域振興係

令和4年12月6日

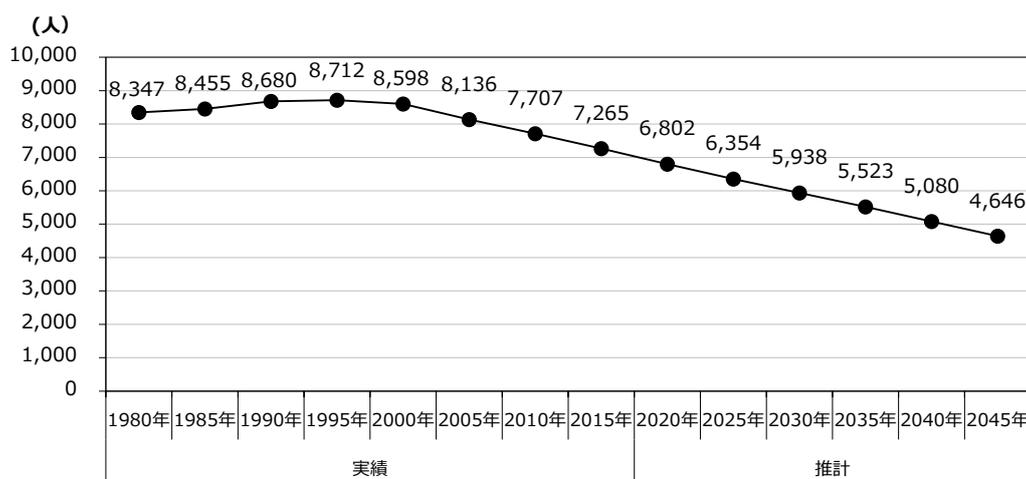
目 次

1	背 景	1
(1)	立科町の人口推移	1
(2)	移住相談の推移	1
(3)	移住者が希望する住宅のかたち	2
2	目 的	2
3	調査概要	2
(1)	調査課題	2
(2)	アンケートの依頼方法と主な対象者	2
(3)	目標サンプル数と集計数	3
(4)	調査票	3
(5)	質問項目	4
(6)	調査スケジュール	6
(7)	回答者への御礼	6
4	調査結果	6
(1)	回答数	6
(2)	単純集計	7
(3)	回答者の属性分類による集計	11
(4)	想定する移住者像による住宅の希望	17
(5)	想定する移住者像ごとのまとめ	24
5	ま と め	26

1 背景

(1) 立科町の人口推移

立科町人口ビジョン（令和2年3月31日時点修正版）において、本町の人口は1995年まで増加傾向で推移していたものの、以降は減少に転じており、ピークだった1995年の8,712人から2045年には4,646人まで減少し、2015年に比して36.0%減少する推計が示されている。



(まち・ひと・しごと創生 立科町人口ビジョン時点修正令和2年3月31日版から)

(2) 移住相談の推移

そこで、町では人口減少を抑制する取組みとして移住促進に取り組んできた。平成28年度に移住体験住宅の運用を開始し、平成29年度に一元的な移住支援の窓口である移住サポートセンターの設置を行った。また、移住に関する情報提供や周知展開を行うウェブサイトを設置運営するなど、積極的な移住支援を行ってきた。

その成果として、移住相談は以前の年間30組程度から増加しており、コロナ禍が収束しつつあり、地方移住の機運が高まっている2022年においては、上半期で43件とこれまでにならぬ件数となっている。

	2017	2018	2019	2020	2021	2022 (9月末現在)
移住相談 (組数)	32	40	50	42	55	43

しかしながら、近年の移住相談の増加に対して町の住宅供給数が大幅に不足しており、移住希望者が当町に物件を見つけることができず、他自治体に移住してしまう例が散見されるようになった。そのため、町では空き家バンク制度及び空き家の改修等に使用できる補助金を創設して、増加する空き家を移住希望者に向けた住宅として利活用する方針を進めてきたが、住宅の供給数は依然として不足した状況が続いている。

(3) 移住者が希望する住宅のかたち

このようなことから、人口減少を抑制するためには、移住相談から移住に確実に結び付けることが肝要であり、そのためには移住希望者向けの住宅を供給する必要がある。

そこで、移住希望者のニーズに対応した住宅を提供するために、望まれる住宅のかたちや移住後のライフスタイルについてニーズを把握する必要がある。

2 目的

上述した通り、当町の人口減少を押しとどめて地域生活を維持するためには、空き家の利活用の推進だけではなく、移住希望者のニーズにあった住宅を整備して抜本的に住宅供給数を増やす必要がある。

そこで、令和4年度中に策定予定の立科町町営住宅整備等計画（仮）において、移住者向け町営住宅の整備計画を組込むことを前提として、効果的かつ効率的に移住促進を図るため、移住希望者がどのような住宅のかたちや移住後のライフスタイルを希望しているか把握することを目的にアンケート調査を実施した。

3 調査概要

(1) 調査課題

本調査により移住を希望する人たちの「住宅の形態ニーズ」「ライフスタイルのニーズ」「居住エリアのニーズ」について明らかにする。

(2) アンケートの依頼方法と主な対象者

(ア) メールマガジンによるアンケート依頼

・楽園信州ファミリー会員

登録数 : 約 900 件

登録対象者：登録時に県外に居住し、長野県への移住・二地域居住を希望している方、長野県に二地域居住している方、長野県内に移住して1年未満の方

メルマガ 配信 : 月 1 回

配信機関 : 長野県企画振興部信州暮らし推進課

・Iターン信州登録者

登録数 : 約 400 件

登録対象者：長野県への UI ターン就職・移住希望者（求職者情報として企業に公開される）

メルマガ 配信 : 月 2 回

配信機関 : 長野県企画振興部信州暮らし推進課

・立科町おいでなんし便り

登録数 : 約 40 件

登録対象者：立科町への移住希望者

メルマガ 配信 : 月 1 回

配信機関：立科町移住サポートセンター

(イ) 移住相談窓口でのアンケート依頼

① 立科町役場／移住サポートセンター

対 象：役場窓口及び移住サポートセンターでの移住相談、オンライン移住相談等の参加者、立科町出展の移住セミナー（7/23「信州で暮らす、働くフェア」）参加者

② ふるさと回帰支援センター

対 象：NPO 法人ふるさと回帰支援センター（東京都千代田区）信州暮らしサポートデスクでの移住相談者

③ 銀座 NAGANO

対 象：長野県信州首都圏総合活動拠点「銀座 NAGANO」5F の移住交流・就職相談コーナーでの移住相談者

④ 長野県名古屋移住・交流サポートデスク

対 象：長野県名古屋移住・交流サポートデスク（愛知県名古屋市）での移住相談者

⑤ 長野県大阪移住・交流サポートデスク

対 象：長野県大阪移住・交流サポートデスク（大阪府大阪市）での移住相談者

(ウ) ウェブサイトへの掲載

立科町移住定住支援サイト「旅する移住」、長野県移住ポータルサイト「楽園信州」、長野県移住支援サイト「ニブンノナガノ」

(3) 目標サンプル数と集計数

目標サンプル件数を 100 件に設定し、回収率を 7.5% (100/1,340) で設定した。

(4) 調査票

(ア) メールマガジン、窓口 (QR コード提示)、ウェブサイト掲載の場合作成したアンケートを Google Forms に掲載し、URL を案内した。

【立科町】移住先の住宅希望アンケート

長野県の東部に位置する立科町では現在、移住希望者の積極的意見を反映した移住者向け賃貸住宅の整備を計画しており、移住者の住宅に関する希望を把握するためアンケート調査を実施いたします。ぜひご協力をお願いします。(所要時間 3分程度)

実施機関：長野県立科町企画課
回収期間：R4.7.1～9.5
※アンケート結果は個人が特定できないようにして活用いたします。

machikado.office@gmail.com (共有なし)
アカウントを切り替える

回答者の中から抽選で10名様に「立科産じゅーずセット」をプレゼント！※当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。(9月中旬発送予定)

たてしな屋
立科産「じゅーずセット」

ずりおろしりんご(180ml)×2本
りんごどにんじん(180ml)×3本

回答前に「立科町移住定住支援サイト」により立科町の概要をご覧ください。
<https://www.tateshinajyu.jp/about/tateshinamachi/>

次へ 1/5 ページ フォームをクリア

移住先の住宅希望についてお伺いします。

Q1 希望する住宅種別*

戸建て【Q1-2を回答してください】

集合住宅 (アパート・マンション)

Q1-2 戸建ての場合の希望階層

1階建て

2階建て

3階建て

Q2 希望する住宅の広さ*

選択

Q3 農地の有無*

農地付きを希望

農地は不要

Q4 庭の有無*

庭付きを希望

庭不要

(イ) 窓口（アンケート調査用紙配布）の場合

作成したアンケートを調査用紙として配付し、回答を依頼した。

移住先の住宅希望アンケート調査

実施機関：長野県 立科町 企画課
回収期間：R4.7.1～8.31
記入年月日 令和4年 月 日

長野県の東部に位置する立科町では現在、移住希望者の皆様の意見を反映した移住者向け賃貸住宅の整備を計画しており、移住者の住宅に関する希望を把握するためアンケート調査を実施いたします。回答者の中から**抽選で10名様に「立科産じゅーすセット」をプレゼント!** ぜひご協力をお願いいたします。(所要時間 3分程度)

※ アンケート結果は個人(回答者)が特定できないようにして活用いたします。
※ 当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。(9月中旬発送予定)

立科エリア
TATESHINA
Town in
NAGANO

抽選で10名様へプレゼント!

たてしな産「立科産じゅーすセット」
すりおろしりんご (180ml) × 2本
りんごごんじん (180ml) × 3本

I. 移住先の住宅希望についてお伺いします。(項目ごと該当する1つを選択)

住宅種別	<input type="checkbox"/> 戸建て (□平屋 (1階建て) □2階建て □3階建て) <input type="checkbox"/> 集合住宅 (アパート・マンション)
住宅の広さ	<input type="checkbox"/> 1K □1LDK □2LDK □3LDK □4LDK 以上
農地の有無	<input type="checkbox"/> 農地付きを希望 □農地不要
庭の有無	<input type="checkbox"/> 庭付きを希望 □庭不要
負担可能な家賃上限	<input type="checkbox"/> ～3万円以内 □3～5万円以内 □5～7万円以内 □8万円以上 □購入希望 (予算 万円)

II. 移住先でのライフスタイルの希望についてお伺いします。

移住後の働き方 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 移住先で就職 (□正社員 □非正規社員・パートタイム) □自営業 □就農 <input type="checkbox"/> 現業を継続 (テレワーク等) □働く予定はない □その他 ()
二地帯居住(※)の希望	<input type="checkbox"/> あり □なし ※生活拠点が2地域以上あること
動物飼育の希望	<input type="checkbox"/> あり (□屋内 □屋外) □飼育動物の種類 () <input type="checkbox"/> なし
地域交流(※)への関心	<input type="checkbox"/> かなりある □ややある □あまりない □全くない ※ご近所づきあい、子ども同士や親同士の交流、公民館活動等
週末の過ごし方 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 家庭菜園 □ガーデニング □DIY・クラフト □楽器演奏 □料理 <input type="checkbox"/> 登山・キャンプ □スキー・スノーボード □釣り □車・バイク・自転車 □その他 ()

III. その他の希望

移住者向け賃貸住宅に期待すること・要望 (自由記入欄)

IV. 居住エリアの希望についてお伺いします。
立科町を地理的特徴から3つの居住地域に分類しています。以下の特徴を踏まえて一番住みたいと思う地域を選択してください。(1つを選択)

地域	特徴
<input type="checkbox"/> A. 生活に便利な町の中心地	<ul style="list-style-type: none"> 車がなくともスーパーマーケット、学校、病院等に徒歩でアクセスできる 中心地でも高い建物は少なく、浅間山等を見渡せる 夜場、コンビニ、飲食店がそろっている
<input type="checkbox"/> B. 田畑が広がる田園エリア	<ul style="list-style-type: none"> スーパーマーケット、学校、病院等の生活圏へのアクセスは車で5～10分 バスも利用可能だがより便利に暮らしに車はほぼ必須 浅間山をバックに、のどかな田園風景が広がっている
<input type="checkbox"/> C. 自然豊かな高原エリア	<ul style="list-style-type: none"> 生活圏へのアクセスは車で30分程度 標高が1530mと高く、湖や牧場を有する観光地 夏は涼しく冬はとかく寒い別荘地

V. 最後に回答者様の基本情報についてお伺いします。(各項目該当する1つを選択)

性別	<input type="checkbox"/> 男性 □女性
年代	<input type="checkbox"/> 20代 □30代 □40代 □50代 □60代 □70代以上
在住地	都道府県 区市町村
未婚/既婚	<input type="checkbox"/> 未婚 □既婚
子(※)の有無	<input type="checkbox"/> あり □なし ※18歳未満の子
移住後の世帯人数	<input type="checkbox"/> 単身 □同居人あり (世帯員 人) ※本人を含む人数
同居人ありの場合の世帯員 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 配偶者 □未成年児 □就学児以上の子 □父母 □祖父 □その他
普通自動車運転免許	<input type="checkbox"/> あり □なし
世帯年収	<input type="checkbox"/> 199万円以下 □200～399万円 □400～599万円 □600～799万円 □800～999万円 □1000万円以上
長野県立科町を知っていますか	<input type="checkbox"/> 知っている □知らない 【どこで知りましたか】 <input type="checkbox"/> 旅行・イベント等で訪れた □TV・雑誌 □SNS □その他 ()

☆プレゼント抽選に参加希望される場合は以下へご記入をお願いします☆

フリガナ	
お名前	
連絡先 (お電話番号)	
記念品送り先住所	〒

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

(5) 質問項目

質問項目及び回答選択肢は、以下のとおりである。

I. 移住先の住宅の希望について (項目ごと該当する1つを選択)

住宅種別 戸建て (□平屋 (1階建て) □2階建て □3階建て)
集合住宅 (アパート・マンション)

住宅の広さ 1K □1LDK □2LDK □3LDK □4LDK 以上

農地の有無 農地付きを希望 □農地不要

庭の有無 庭付きを希望 □庭不要

負担可能な家賃上限 ～3万円以内 □3～5万円以内 □5～7万円以内 □8万円以上

II. 移住先でのライフスタイルの希望について

移住後の働き方 (複数回答可) 移住先で就職 (□正社員 □非正規社員・パートタイム) □自営業
就農 □現業を継続 (テレワーク等) □働く予定はない
その他 ()

二地域居住 (※)の希望	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし ※生活拠点が2地域以上あること
動物飼育の 希望	<input type="checkbox"/> あり (<input type="checkbox"/> 屋内 <input type="checkbox"/> 屋外) 飼育動物の種類 () <input type="checkbox"/> なし
地域交流(※)へ の関心	<input type="checkbox"/> かなりある <input type="checkbox"/> ややある <input type="checkbox"/> あまりない <input type="checkbox"/> 全くない ※ご近所づきあい、子ども同士や親同士の交流、公民館活動等
週末の過ごし 方(複数回答 可)	<input type="checkbox"/> 家庭菜園 <input type="checkbox"/> ガーデニング <input type="checkbox"/> DIY・クラフト <input type="checkbox"/> 楽器演奏 <input type="checkbox"/> 料理 <input type="checkbox"/> 登山・キャンプ <input type="checkbox"/> スキー・スノボ <input type="checkbox"/> 釣り <input type="checkbox"/> 車・バイク・自転車 <input type="checkbox"/> その他 ()

III. その他の希望 移住者向け賃貸住宅に期待すること・要望【自由記入欄】

IV. 居住エリアの希望について

立科町を地理的特徴から3つの居住地域に分類しています。

以下の特徴を踏まえて一番住みたいと思う地域を選択してください。(1つを選択)

地 域	特 徴
<input type="checkbox"/> A.生活に便利な町の中心地 	<ul style="list-style-type: none"> ・車がなくてもスーパーマーケット、学校、病院等に徒歩でアクセスできる ・中心地でも高い建物は少なく、浅間山等を見渡せる ・役場、コンビニ、飲食店がそろっている
<input type="checkbox"/> B.田畑が広がる田園エリア 	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーマーケット、学校、病院等の生活圏へのアクセスは車で5～10分 ・バスも利用可能だがより便利な暮らしに車はほぼ必須 ・浅間山をバックに、のどかな田園風景が広がっている
<input type="checkbox"/> C.自然豊かな高原エリア 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活圏へのアクセスは車で30分程度 ・標高が1530mと高く、湖や牧場を有する観光地 ・夏は涼しく冬はとにかく寒い別荘地

V. 回答者様の基本情報について（各項目該当する1つを選択）	
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性
年代	<input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70代以上
在住地	都道府県 区市町村
未既婚	<input type="checkbox"/> 未婚 <input type="checkbox"/> 既婚
子(※)の有無	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし ※18歳未満の子
移住後の世帯人数	<input type="checkbox"/> 単身 <input type="checkbox"/> 同居人あり（世帯員 人）※本人を含む人数
同居人ありの場合の世帯員（複数回答可）	<input type="checkbox"/> 配偶者 <input type="checkbox"/> 未就学児 <input type="checkbox"/> 就学児以上の子 <input type="checkbox"/> 父母 <input type="checkbox"/> 祖父母 <input type="checkbox"/> その他
普通自動車運転免許	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
世帯年収	<input type="checkbox"/> 199万円以下 <input type="checkbox"/> 200～399万円 <input type="checkbox"/> 400～599万円 <input type="checkbox"/> 600～799万円 <input type="checkbox"/> 800～999万円 <input type="checkbox"/> 1000万円以上
長野県立科町を知っていますか	<input type="checkbox"/> 知っている <input type="checkbox"/> 知らない 【どこで知りましたか】 <input type="checkbox"/> 旅行・イベント等で訪れた <input type="checkbox"/> TV・雑誌 <input type="checkbox"/> SNS <input type="checkbox"/> その他（ ）

(6) 調査スケジュール

2022年 7月から8月まで	アンケート配付と回収
9月から11月まで	アンケート集計と分析

(7) 回答者への御礼

回答者のうち希望者に対して、抽選で10名に立科町産ジュースセットを送付した。

4 調査結果

(1) 回答数

本調査において集まった回答は以下のとおりである。

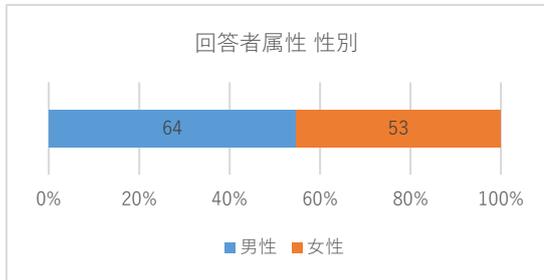
以降の集計・分析には、有効回答数117件のアンケート結果を用いた。

回答方法	回答数
Google Forms	57 ※移住相談窓口において案内した数を含む
調査用紙	62
総回答数	119
有効回答数	117 ※総回答数119件のうち、2人の回答者が重複のため

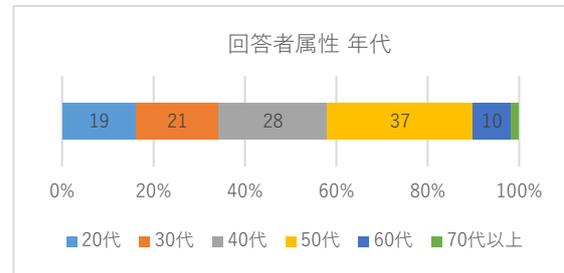
(2) 単純集計

(ア) 回答者の属性

○性別

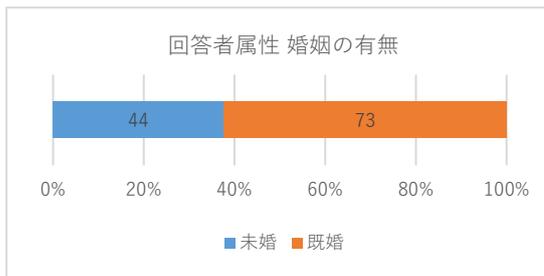


○年代

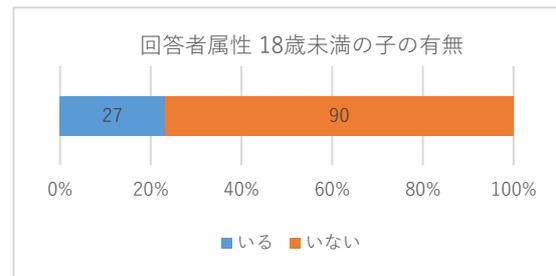


- ・回答者のうち男性が64件（55%）、女性が53件（45%）
- ・回答者の年代は20代19件（16%）、30代21件（18%）、40代28件（24%）、50代37件（33%）、60代10件（8.4%）、70代以上2件（2%）
- ・年代のうち、20、30代をユース世代（40件）、40、50代をミドル世代（65件）、60、70代以上をシニア世代（12件）と分類して、各世代の集計に活用

○婚姻の有無



○18歳未満の子の有無

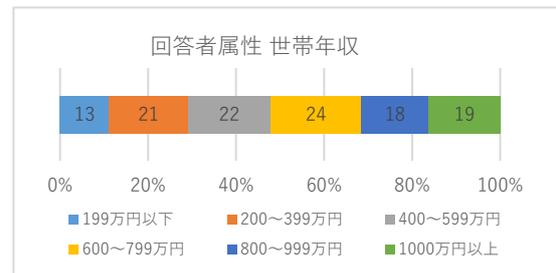


- ・回答者のうち未婚者が44件（38%）、既婚者が73件（62%）
- ・18歳未満の子の有無については、いるが27件（23%）、いないが90件（77%）

○運転免許の有無

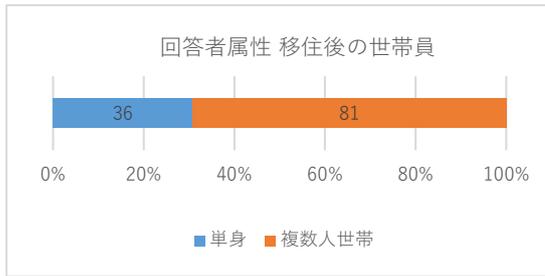


○世帯年収



- ・運転免許を持つ人が109件（93%）、持たない人が8件（7%）
- ・世帯年収については、199万円以下が13件（11%）、200~399万円が21件（19%）、400~599万円が22件（19%）、600~799万円が24件（20%）、800~999万円が18件（16%）、1,000万円以上が19件（11%）
- ・世帯年収属性において、399万円以下（34件）、400~799万円（46件）、800万円以上（37件）の3つのカテゴリーに分類して、のちに記載する属性ごとの集計に活用

○移住後の世帯員



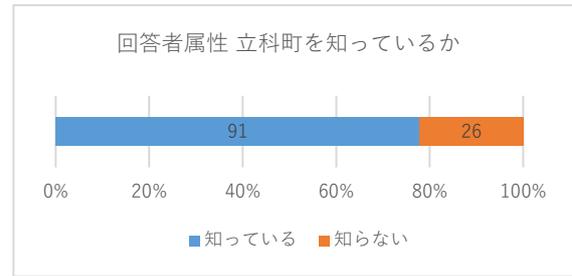
(移住後の世帯員)

- ・回答者のうち単身が36件(31%)、複数人世帯が81件(69%)

(立科町を知っているか)

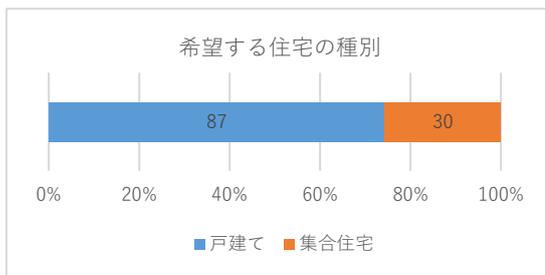
- ・回答者のうち知っているが91件(78%)、知らないが26件(22%)

○立科町を知っているか



(イ) 移住先の住宅の希望について

○希望する住宅の種別



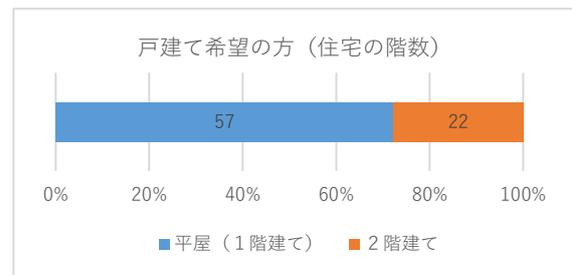
(希望する住宅の種別)

- ・戸建てを希望する人が87件(74%)、集合住宅を希望するが30件(26%)

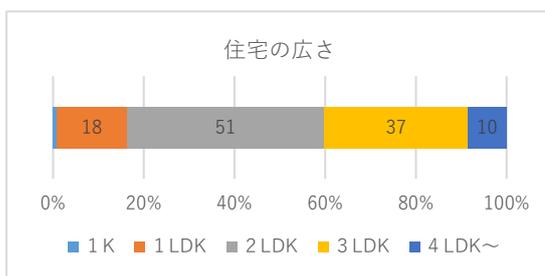
(戸建て希望の方の住宅の階数)

- ・平屋が57件(73%)、2階建てが22件(27%)

○戸建ての場合の階層の希望



○希望する住宅の広さ



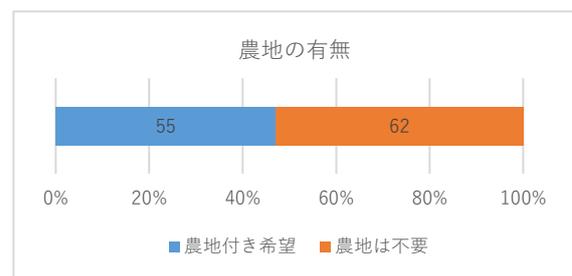
(希望する住宅の広さ)

- ・1Kを希望する人が1件(1%)、1LDKが18件(15%)、2LDKが51件(45%)、3LDKが37件(31%)、4LDK以上が10件(8%)

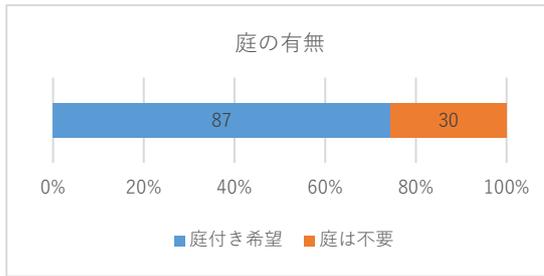
(農地の有無について)

- ・希望するが55件(46%)、不要が62件(54%)

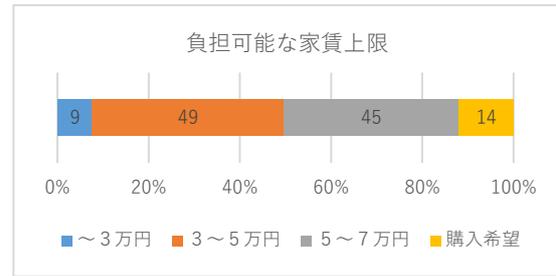
○農地の有無



○庭の有無



○負担可能な家賃上限



(庭の有無について)

- ・希望するが 87 件 (74%)、不要が 30 件 (26%)

(負担可能な家賃上限について)

- ・3万円以下が 9 件 (8%)、3~5万円が 49 件 (41%)、5~7万円が 45 件 (39%)、購入を希望するが 14 件 (12%)

○購入希望の場合の予算額 (万円)

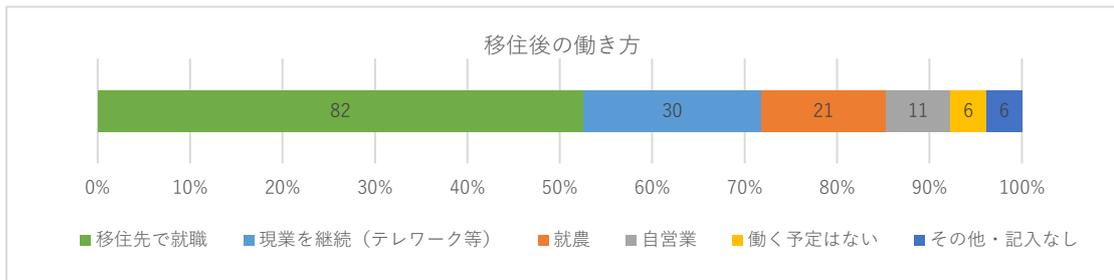
回答数	平均値	中央値
27	1,369	1,000

- ・平均値は 1,369 万円、中央値は 1,000 万円

※回答数が購入を規模すると回答した 14 件よりも増えているのは、賃貸として金額を回答した方の中で、購入する場合を想定して購入希望金額を記載した方がいたため

(ウ) 移住先でのライフスタイルの希望

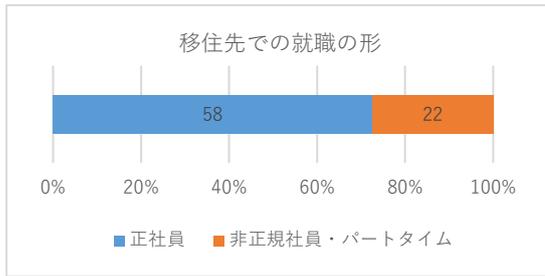
○移住後の働き方



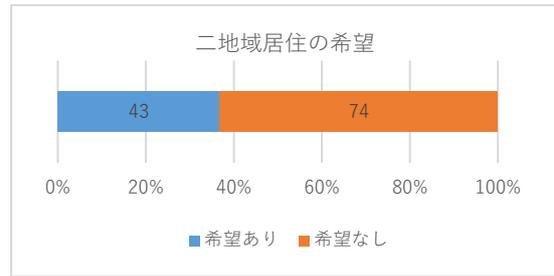
(移住後の働き方について)

- ・移住先で就職が 82 件 (53%)、現業を継続 (テレワーク等) が 30 件 (19%)、就農が 21 件 (13%)、自営業が 11 件 (7%)、働く予定はないが 6 件 (4%)、その他が 6 件 (4%)

○移住先での就職の形



○二地域居住の希望



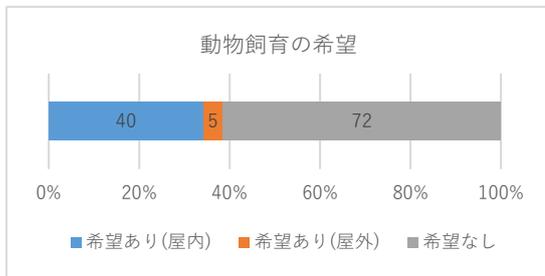
(移住先での就職の形について)

- ・正社員が 58 件 (73%)、非正規・パートタイムが 22 件 (27%)

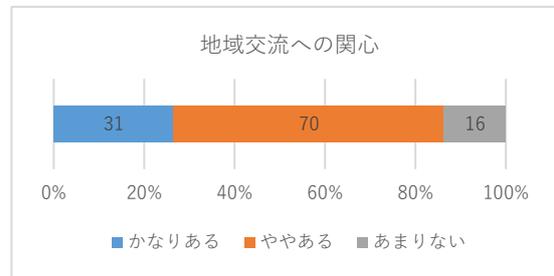
(二地域居住の希望について)

- ・希望ありが 43 件 (38%)、希望なしが 74 件 (62%)

○動物飼育の希望



○地域交流への関心



(動物飼育の希望について)

- ・希望あり（屋内）が 40 件 (34%)、希望あり（屋外）が 5 件 (4%)、希望なしが 72 件 (62%)

- ・飼育したい動物としては犬と猫が大半を占めた。

(地域交流への関心について)

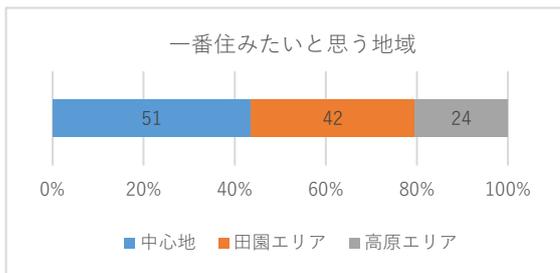
- ・かなりあるが 31 件 (26%)、ややあるが 70 件 (60%)、あまりないが 16 件 (14%)

○週末の過ごし方：複数選択

- ・「登山・キャンプ」が 82 件、「家庭菜園」が 68 件、「料理」が 46 件、「車・バイク・自転車」が 45 件、以下「ガーデニング」「スキー・スノボ」が続く

(エ) 居住エリアについて

○一番住みたいと思う地域



- ・生活に便利な町の中心地が 51 件 (43%)、田畑が広がる田園エリアが 42 件 (36%)、自

然豊かな高原エリアが 24 件 (21%)

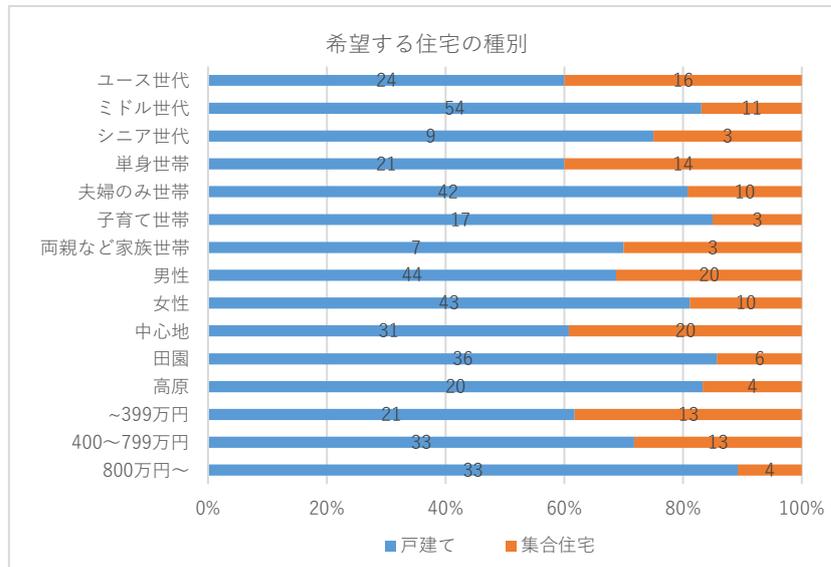
(3) 回答者の属性分類による集計

全回答者を年代、世帯構成（移住後）、性別などのカテゴリーで分類して、カテゴリーごとの傾向を把握する。分類は以下のとおりである。

分類要素	カテゴリー	内訳	回答者数
年代	ユース世代	20 代、30 代	40
	ミドル世代	40 代、50 代	65
	シニア世代	60 代、70 代以上	12
世帯構成 (移住後)	単身世帯		35
	夫婦のみ世帯		52
	子育て世帯	18 歳未満の子がいる	20
	両親など家族世帯	両親と同居など	10
性別	男性		64
	女性		53
希望エリア	中心地		51
	田園		42
	高原		24
住宅の種別	集合住宅		30
	戸建て		87
世帯年収	~399 万円	199 万円以下、200~399 万円	34
	400~799 万円	400~599 万円、600~799 万円	46
	800 万円~	800~999 万円、1000 万円以上	37

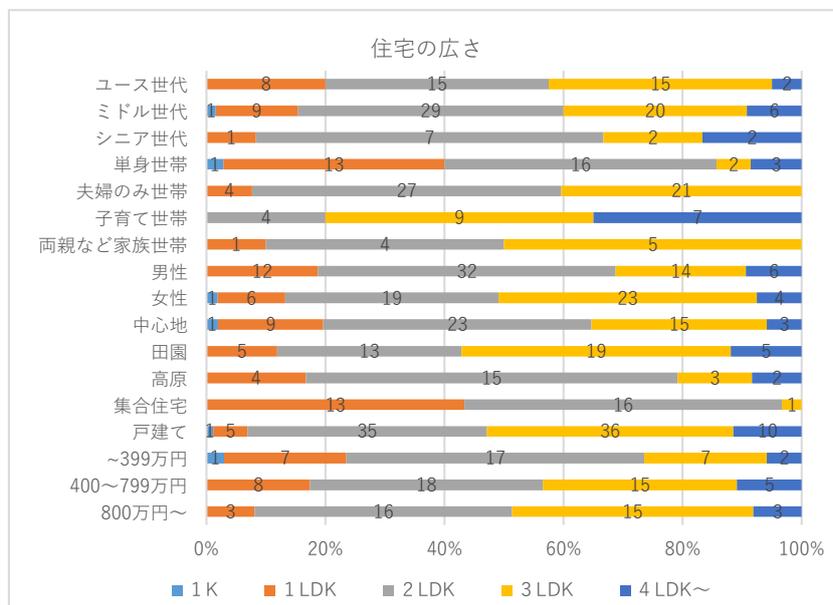
(ア) 移住先の住宅の希望について

○希望する住宅の種別



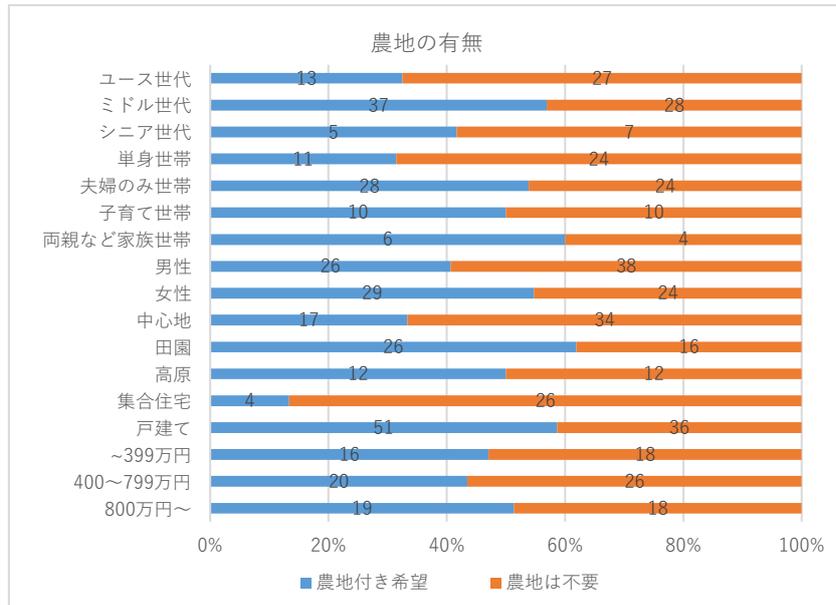
- ・最も戸建てを希望しているのは子育て世帯とミドル世代
- ・ユース世代と単身世帯は他のカテゴリーに比べて集合住宅を望む割合が高い
- ・中心エリアでは田園エリアや高原エリアに比べて集合住宅を望む割合が高い
- ・世帯年収が高くなるほど、戸建てを望む傾向

○希望する住宅の広さ



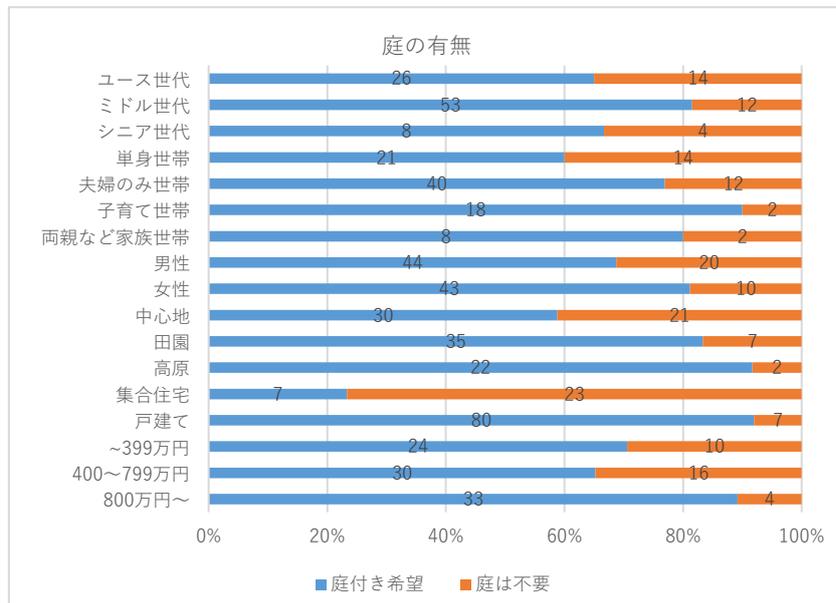
- ・単身世帯は1LDKを望む割合が他のカテゴリーより高い
- ・夫婦のみ世帯は2LDKを望む割合が他のカテゴリーより高い
- ・子育て世帯は3LDK以上の広さを望み、4LDK以上を求めている割合が突出
- ・集合住宅においては、2LDKまでの広さを求める回答が大半
- ・戸建て住宅においては、半数以上が3LDK以上の広さを求める

○農地の有無



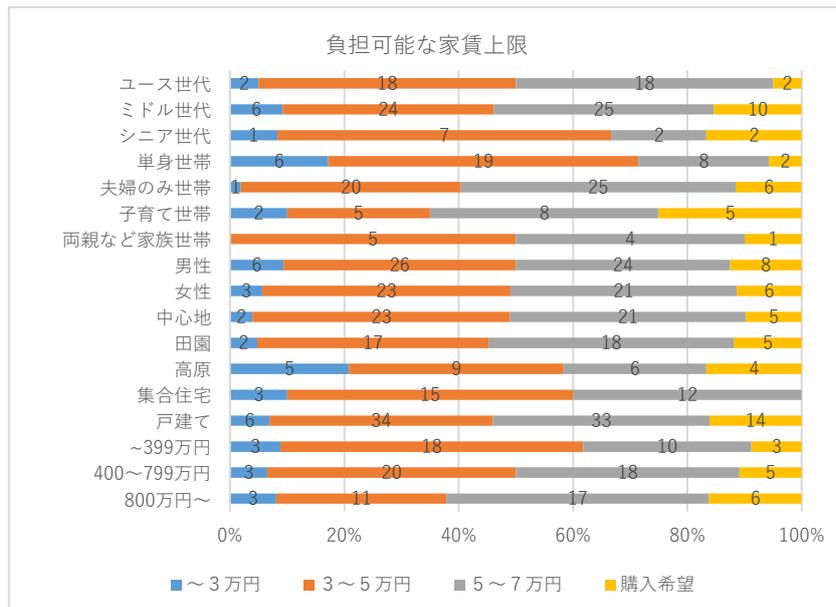
- ・田園エリアと戸建てを希望する方の約6割が農地付きを希望
- ・単身世帯や集合住宅を希望する方の中で農地付きを希望する割合は極めて低い
- ・ミドル世代が他の世代に比べて比較的農地付きを希望する割合が高い

○庭の有無



- ・子育て世帯と戸建てを望む方が庭付きを強く希望
- ・単身世帯や中心地を望む方は比較的庭を望む割合が少ない
- ・全体的にはどのカテゴリーであっても庭は望まれている

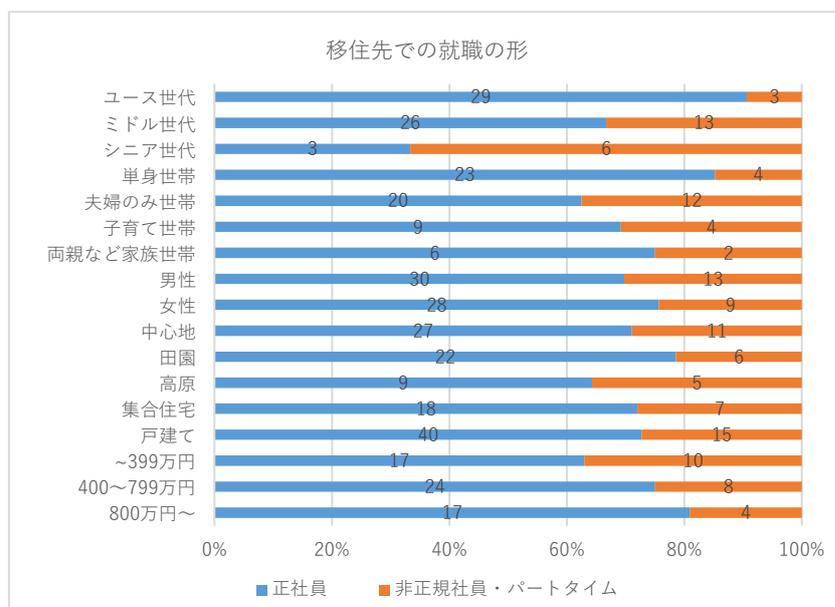
○負担可能な家賃上限



- ・ユース、ミドル世代に比して、シニア世代のほうが5万円以下と回答する割合が多い
- ・単身世帯では同居者がいるカテゴリーに比して5万円以下とする回答の割合が高い
- ・子育て世帯では7万円までとする回答や購入を希望している方の割合が高い
- ・世帯年収が高いほど、負担できる家賃が高い傾向がみられる

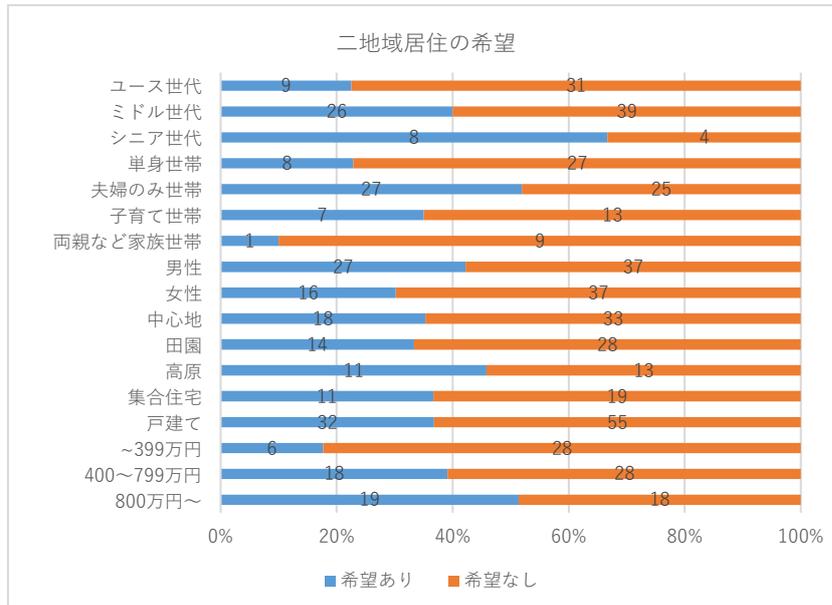
(イ) 移住先でのライフスタイルの希望について

○移住先での就職の形



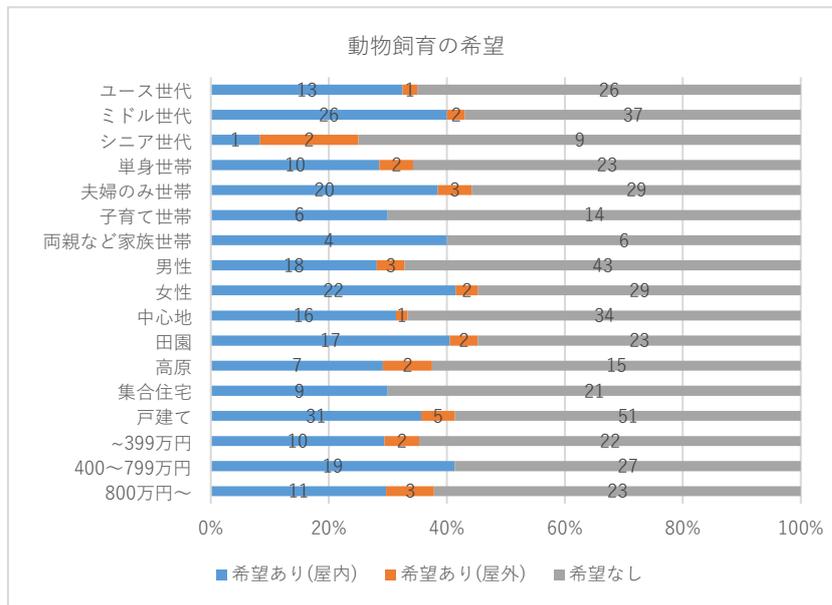
- ・ユース世代では9割であり、若い世代ほど、正社員での就職を望む傾向が高い
- ・単身世帯の8割以上が正社員での就職を望んでいる
- ・どのカテゴリーでも7割近い回答が正社員での就職を希望している

○二地域居住の希望



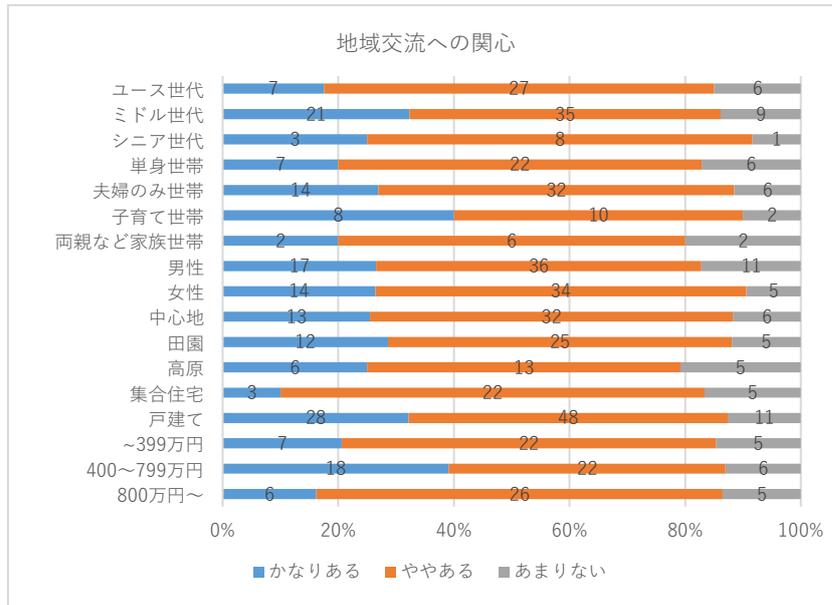
- ・ 年代が高いほど二地域居住の希望が高い傾向があり、シニア世代が最も高い
- ・ 年収が高いほど二地域居住の希望が高い傾向があり、800万円以上で半数にのぼる
- ・ 夫婦のみ世帯が他の世帯構成のカテゴリーに比べて二地域居住の希望が高い

○動物飼育の希望



- ・ 全体的に3~4割の方が屋内飼育・屋外飼育を含めて動物を飼いたい希望がある
- ・ シニア世代においては、動物飼育の希望が他世代に比して少なかった

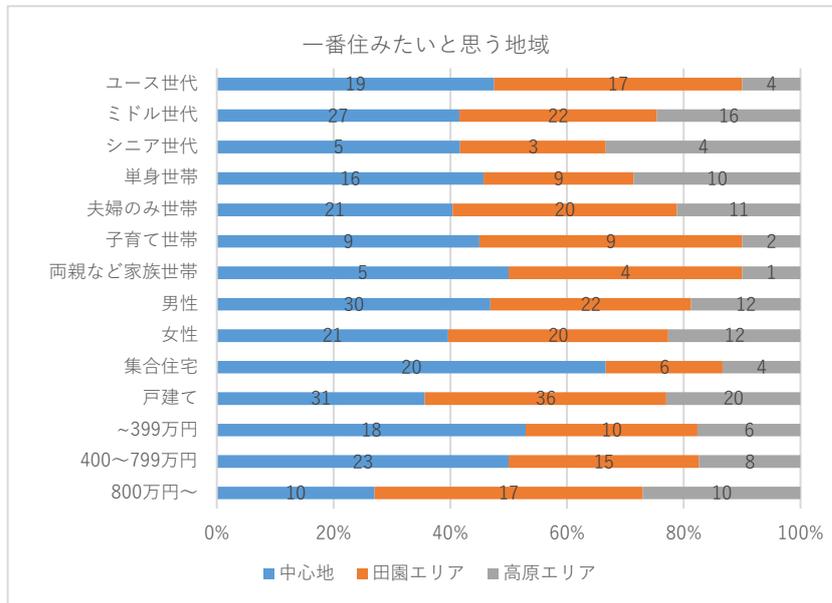
○地域交流への関心



- ・子育て世帯が最も地域交流への関心がある割合が高い
- ・どのカテゴリーにおいても8割近くが地域交流への関心がある

(ウ) 居住エリアについて

○一番住みたいと思う地域



- ・どの世代でも約4割が中心地を希望している
- ・年代が高いほど田園エリアよりも高原エリアを希望する傾向がある
- ・集合住宅を希望する方の中心地を望む割合が約6割と他と比べて突出して高い
- ・世帯年収800万円以上の方は他に比して田園エリアと高原エリアを希望する傾向がある

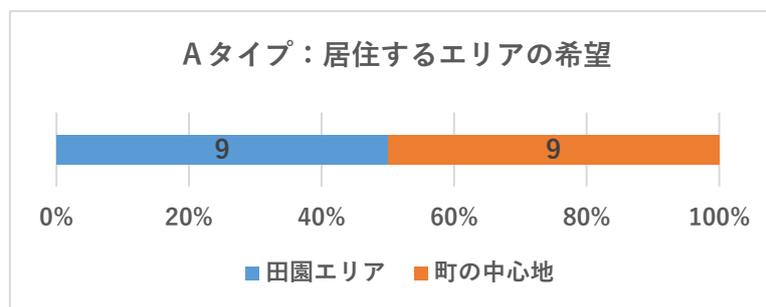
(4) 想定する移住者像による住宅の希望

全回答者を、これまでの移住相談の傾向から移住者像を以下3つのタイプと想定し、それぞれのタイプにおいて、希望する居住エリアによってどのような住宅及びライフスタイルを希望しているのか検討した。

○移住者像の3つのタイプ

タイプ	移住者像	抽出条件
Aタイプ	自然豊かな子育て環境を求めるユースミドル家族世帯	世帯構成【移住後の世帯構成が「子育て世帯」】 × 一番住みたいと思うエリア【生活に便利な町の中心地・田畑が広がる田園エリア】
Bタイプ	地方での新生活を求めるユースミドルの単身世帯	世帯構成【移住後の世帯構成が「単身世帯」】 × 年代【20代、30代、40代】 × 一番住みたいと思うエリア【生活に便利な町の中心地・田畑が広がる田園エリア】
Cタイプ	これからの地方暮らしを求めるミドルシニア夫婦のみの世帯	世帯構成【移住後の世帯構成が「夫婦のみ世帯」】 × 年代【40代、50代、60代】 × 一番住みたいと思うエリア【生活に便利な町の中心地・田畑が広がる田園エリア】

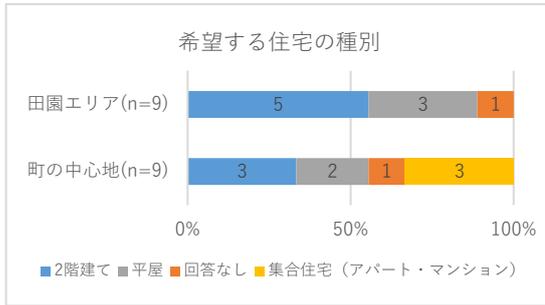
(ア) Aタイプ：自然豊かな子育て環境を求めるユースミドル家族世帯



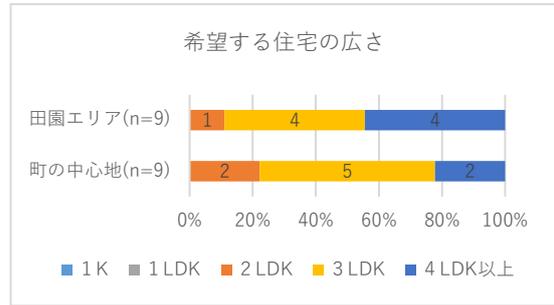
自然豊かな子育て環境を求めて移住を希望されるニーズは常にあるが、以前のイメージのように田園エリアに広い家を構えて田舎暮らしをしたいという意向だけではなく、町の中心地を希望するケースも半数あり、多様化が伺える結果となった。

そのため、同じ子育て世帯であったとしても、希望するエリアによって住宅に求めるニーズが異なっており、農地の有無や動物飼育の希望などにニーズの違いが確認できた。

○希望する住宅の種別



○希望する住宅の広さ



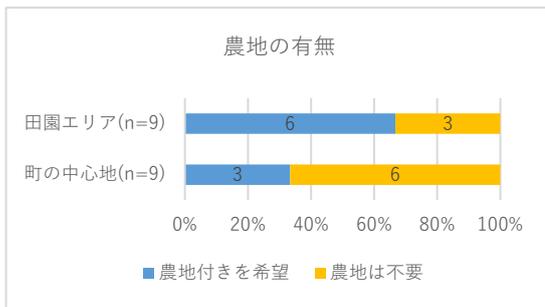
(希望する住宅の種別)

- ・田園エリアを希望する場合、集合住宅を希望する回答者はいない
- ・町の中心地を希望する場合でも、集合住宅を希望する割合が25%

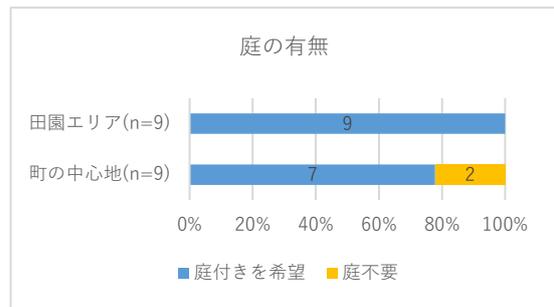
(希望する住宅の広さ)

- ・エリア別によらず、8割近くが3LDK以上を希望

○農地の有無



○庭の有無



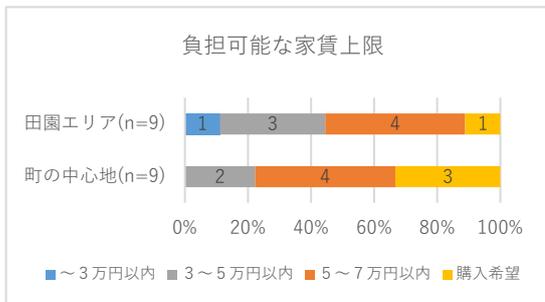
(農地の有無について)

- ・希望するエリアの違いにより意向が異なる
- ・田園エリアを希望する場合農地付きを望む回答が多く、中心地を希望する場合は半数以上が農地不要と回答

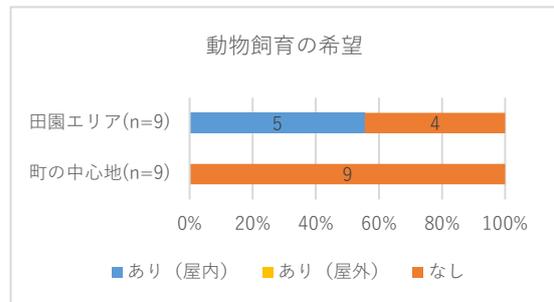
(庭の有無について)

- ・エリアの違いなく多くの回答が庭付きを希望

○負担可能な家賃上限



○動物飼育の希望



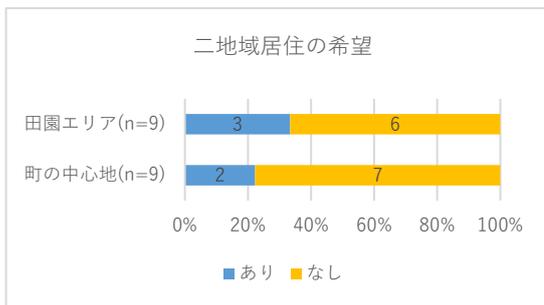
(負担可能な家賃上限について)

- ・田園エリアを希望する場合、町の中心地を希望する場合に比べて安価な設定を希望する

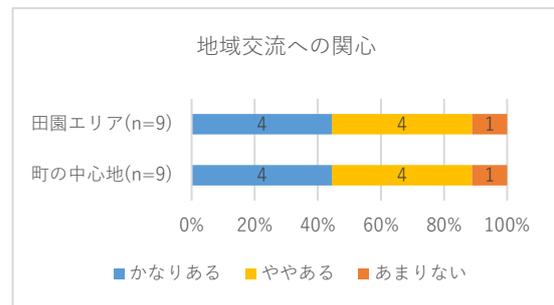
割合が多い

- ・町の中心地を希望する場合、購入希望とする回答が30%近くあり、子育て世帯が購入しなくても移住を検討している様子がうかがえる
- ・他のタイプに比べて、住居に対する費用負担は許容する傾向（動物飼育の希望について）
- ・田園エリアを希望する回答者の半数が飼育希望に対して、中心地を希望する場合は飼育希望の意思がない
- ・飼育希望の回答であっても、屋内で飼育することを想定

○二地域居住の希望



○地域交流への関心



(二地域居住の希望について)

- ・希望エリアによる差はなく、2～3割が希望している状況

(地域交流への関心)

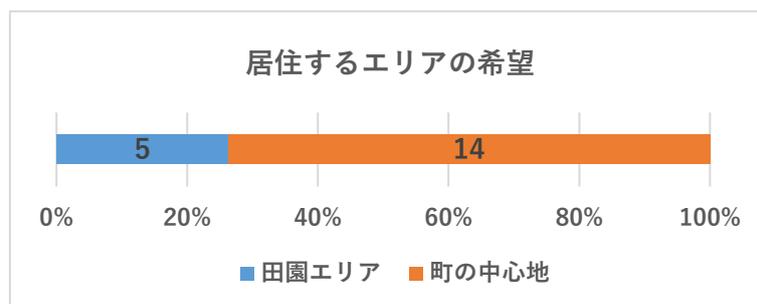
- ・希望エリアによる差はなく、9割近い回答者が関心あり

○購入希望の場合の予算額（万円）

Aタイプ	平均値	中央値
田園エリア	2,500	3,000
町の中心地	2,500	2,750

- ・住宅購入の際の予算額はエリアによらず相対的に高く、中央値が2,750～3,000万円
- ・ある程度の支出を想定しており、子育てに必要な広さを求めている

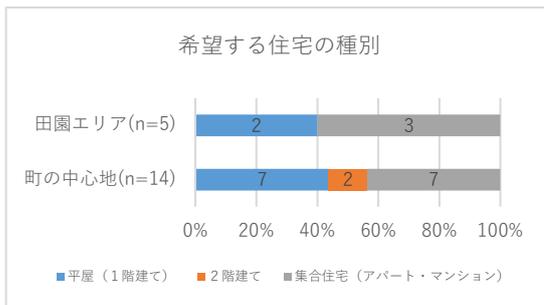
(イ) Bタイプ：地方での新生活を求めるユースミドルの単身世帯



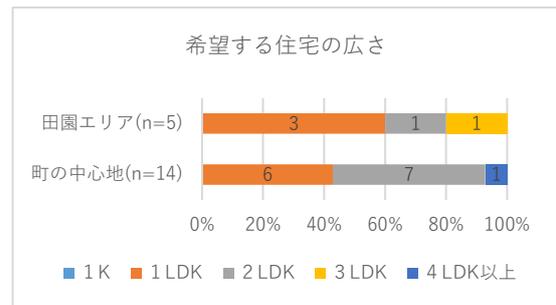
この移住者像の回答では、町の中心地を希望する回答が田園エリアを希望する回答に比べ

て3倍近い数になっていた。田園エリアを希望する場合でも平屋（戸建て）ではなく、半数が集合住宅を希望する結果となった。また、農地が不要の割合が80%、庭が不要の割合が半数以上、希望する住宅の広さをほぼすべての回答者が2LDK以下となるなど、ゆとりある田舎暮らしを求めて移住を希望する方よりも、仕事を含めた自分の暮らしの拠点を首都圏から地方に移したい意向が強く読み取れる結果となった。

○希望する住宅の種別



○希望する住宅の広さ



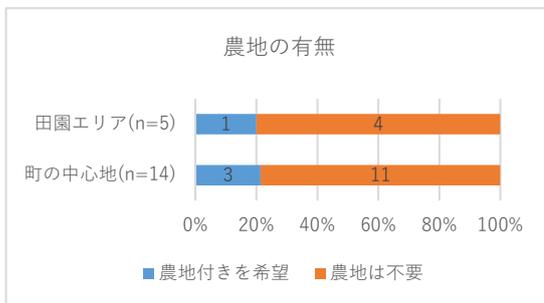
(希望する住宅の種別)

- ・集合住宅を希望する割合が、希望エリアによらず半数近くを占めた

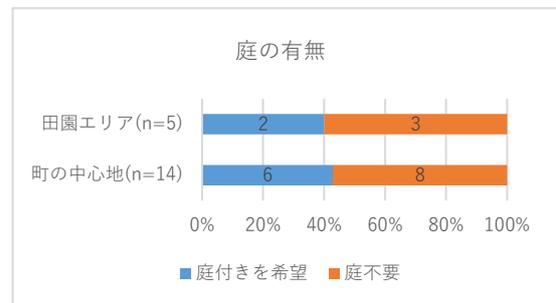
(住宅の広さについて)

- ・希望エリアによらず、2LDK以下を希望する回答がほぼすべてを占めた

○農地の有無



○庭の有無



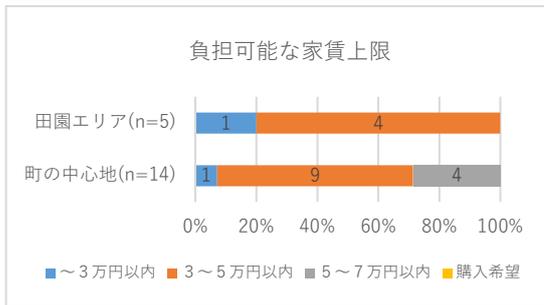
(農地の有無について)

- ・希望するエリアによる違いはなく、2割程度が農地を希望

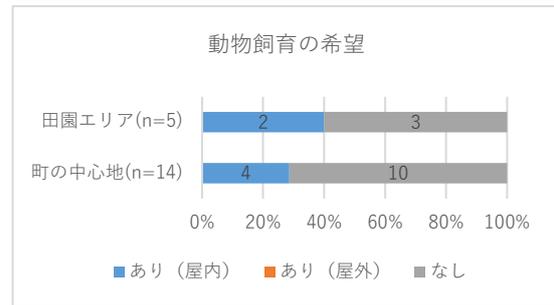
(庭の有無について)

- ・希望するエリアによる違いはなく、半数が希望

○負担可能な家賃上限



○動物飼育の希望



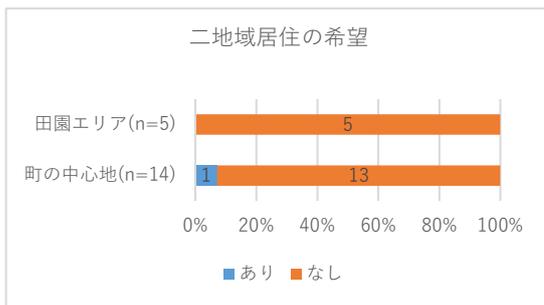
(負担可能な家賃上限について)

- ・田園エリアにおいては5万円以内とする希望がすべて
- ・町の中心地においては、5万円までの回答が7割
- ・購入を希望するという回答は両エリアともない

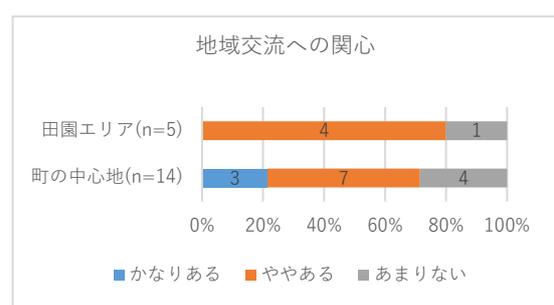
(動物飼育の希望について)

- ・田園エリアの希望者がやや飼育希望を多く持っている

○二地域居住の希望



○地域交流への関心



(二地域居住の希望)

- ・エリアの違いに関わらず、希望はほぼ無い

(地域交流への関心について)

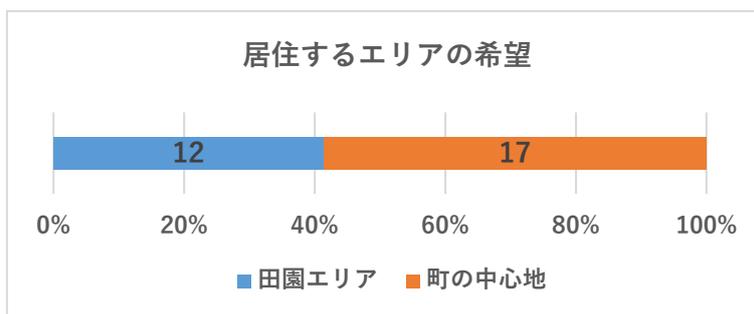
- ・両エリアともに8割近くが関心がある

○購入希望の場合の予算額 (万円)

Bタイプ	平均値	中央値
田園エリア	1,250	1,250
町の中心地	—	—

- ・田園エリアを希望する回答者からしか得られなかった
- ・他タイプに比べて低く、平均値・中央値ともに1,250万円
- ・必要以上の広さを求めている堅実な暮らしを望む意向

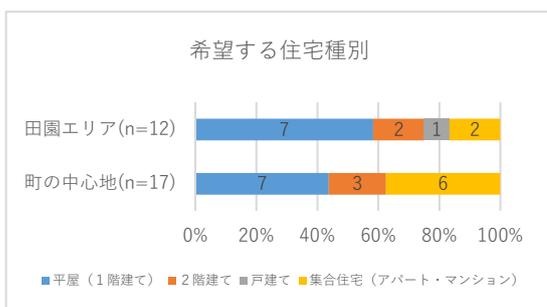
(ウ) Cタイプ：これからの地方暮らしを求めるミドルシニア夫婦のみの世帯



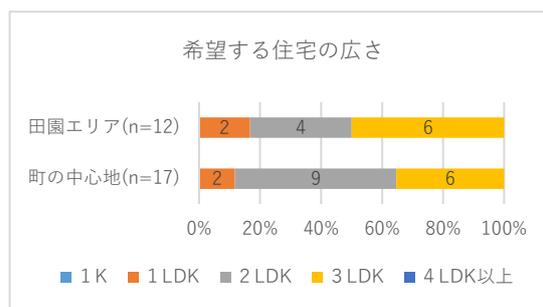
ミドルシニア世代の移住の場合、これまでではゆとりある田園エリアでゆったりとスローライフを楽しむ意向が見られたが、今回の調査では田園エリアを希望する回答よりも町の中心地を希望する回答のほうが多かった。

また、町の中心地を希望する場合、農地を不要とする回答が6割を超えるなど、明らかにリタイア後の土に触れる暮らしを望む移住ニーズとは異なる意向が読み取れる結果となった。

○希望する住宅の種別



○希望する住宅の広さ



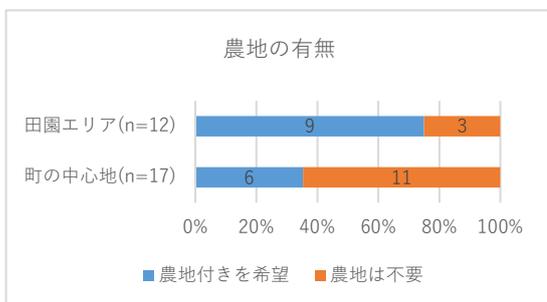
(希望する住宅の種別)

- ・田園エリアに比べて、中心地を希望する場合、4割近くが集合住宅を希望

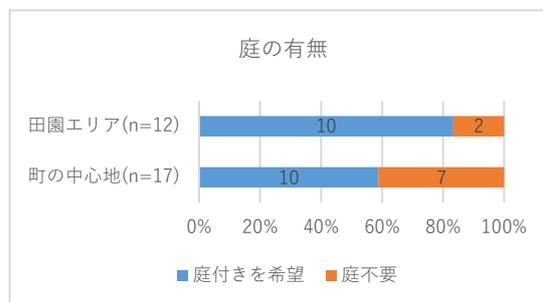
(希望する住宅の広さ)

- ・エリアに関わらず2LDK以上の回答が9割を占める

○農地の有無



○庭の有無



(農地の有無について)

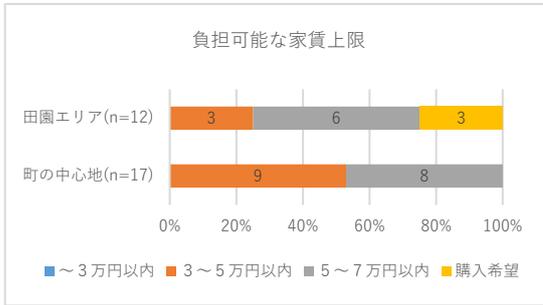
- ・希望するエリアによって大きな差があり、田園エリアを希望する場合8割が希望

(庭の有無について)

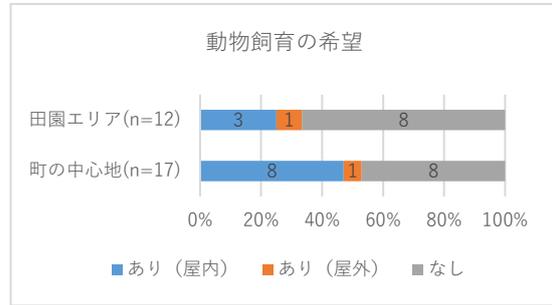
- ・田園エリアを希望する場合、8割以上が庭付きを希望

- ・中心地を希望する場合でも、6割が庭付きを希望

○負担可能な家賃上限



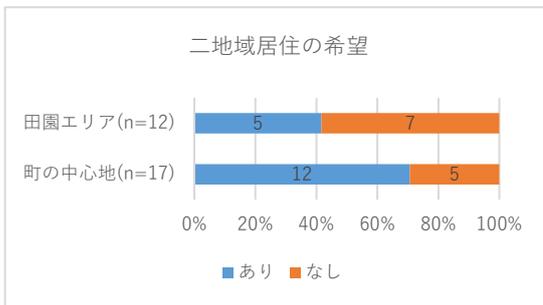
○動物飼育の希望



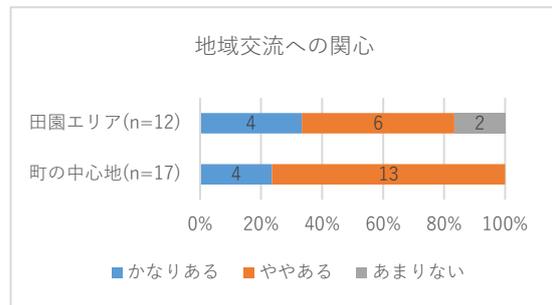
(負担可能な家賃上限について)

- ・エリアによらず半数が5~7万円と回答
- ・町の中心地を希望する場合、5万円以下とする回答も半数見られ、比較的安価な家賃設定を求めている
- ・町の中心地を希望する場合、田園エリアを希望する場合購入を希望する回答がある(動物の飼育について)
- ・エリアによる違いがみられ、中心地を希望する方の半数近くが飼育を希望

○二地域居住の希望



○地域交流への関心



(二地域居住の希望について)

- ・町の中心地を希望する場合、田園エリアの希望者に比べて倍近い意向

(地域交流への関心について)

- ・エリアによらずほぼすべての回答で関心がある

○購入希望の場合の予算額(万円)

Cタイプ	平均値	中央値
田園エリア	1,333	1,000
町の中心地	1,000	1,000

- ・3タイプの中で最も低い結果で、エリアによらず中央値が1,000万円
- ・住宅購入に予算をかけない安価な価格を想定

(5) 想定する移住者像ごとのまとめ

(ア) 想定する移住者像ごとの傾向

以上のことをまとめると、移住者の3つのタイプごとの傾向と共通する内容を確認できた。以下の2つの表に質問ごとの傾向をまとめた。

	住宅種別	住宅の広さ	農地	庭
Aタイプ ※子育て世帯	・全体の8割が戸建て希望 ・田園エリアを希望する場合、集合住宅の希望なし	3LDK以上が必須	・田園エリアを希望する場合、7割が希望	・エリアに関わらず庭付き希望
Bタイプ ※単身世帯	・田園エリアにおいて半数が集合住宅を希望	3LDK以上は不要	・エリアによらず希望少ない	
Cタイプ ※夫婦のみ世帯	・田園エリアで8割が戸建て希望 ・中心地では集合住宅希望が4割	2LDK以上が必須	・田園エリアを希望する場合、7割が希望	・田園エリアで庭付き希望 ・中心地では6割が希望

	負担可能な家賃上限	動物飼育の希望	地域交流への関心
Aタイプ ※子育て世帯	・約半数が5～7万円までの家賃を希望 ・田園エリアを希望する場合、中心地より安価を望む傾向 ・中心地を希望する場合、購入希望者が3割	・田園エリアを希望する場合のみ、半数が屋内飼いを希望	・エリアに関わらず9割が関心あり
Bタイプ ※単身世帯	・田園エリアは特に5万円以下のみ ・中心地を希望する場合も7割の回答者が5万円以下を望む	・エリアに関わらず3～4割が屋内飼いの飼育を希望	・エリアに関わらず8割が関心あり
Cタイプ ※夫婦のみ世帯	・7万円までとする回答が多い ・田園エリアを希望する場合、購入希望者が2割	・中心地を希望する場合、半数が屋内飼いを希望 ・田園エリアでは3割程度	・エリアに関わらず9割が関心あり

(イ) 想定する移住者像ごとの個別コメント

また、移住者の3つのタイプごとに自由記述とした「移住者向け賃貸住宅に希望すること・要望」を以下にまとめた。

Aタイプ（子育て世帯）× 町の中心地	
<ul style="list-style-type: none"> ・保育園や子供の遊び場が近いこと ・調理器具などの設備が充実していること。古民家を子供が怖がるのでなるべく綺麗な施設だと有難いです。あとは値段がお手頃で気軽に借りられること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・購入希望だが希望物件が見つからない間は、賃貸で先に移住することを検討している。ファミリー向けの賃貸物件を希望。家電などのリースの情報提供があるとうれしいです。 ・ベランダ付き、IHではなくガス

Aタイプ（子育て世帯）× 田園エリア

- ・ガスの種類、自治会入会有無、ごみの出し方等、地域によって異なることについて事前の情報提供を充実してほしい。
- ・広い庭と近隣とのある程度の距離
- ・インフラ（特に下水道）
- ・家族が寄り添ってくつろげる環境。心が休まり幸せを感じる場所。
- ・家庭菜園ができる程度の面積があること。寒さが少しでも防げる家（雪下ろししなくてもいい）。
- ・子どもがいるため、小中学校の近くだと嬉しいです。地域の方や他移住者の方と交流できる場所や機会があるといいなと思います。現在は都内の賃貸物件に住んでいますが、やはり窮屈さを感じるため、移住後は賃貸であってもそれなりの広さが欲しいなと思っています。
- ・断熱、ペアガラスなど、防寒対策がしっかりしていること。夏の暑い時期は短いかもしれないが、クーラーは必要。薪ストーブもできれば設置してほしい。

Bタイプ（単身世帯）× 町の中心地

- ・地域の方々や移住者の方々と交流があること。近所にどんな方が住まれているのかがわかること。（東京の賃貸物件は隣にどんな方が住まわれているかわからないので）
- ・集合住宅で移住者同士の同士のコミュニティー場の提供（みんなで農業体験、山登り等）。
- ・東京駅に週1くらい通いたい。
- ・スーパー等の生活必需品がそろそろ施設が近くにあること。
- ・農地付き物件でしたら農業のアドバイスをして下さるような地元の農家さんとの触れ合いの場。
- ・エコな生活ができたらいいなと思います。
- ・水回りのキレイさ。
- ・新しい住宅ほど好ましいです。リフォーム済が良いです。

Bタイプ（単身世帯）× 田園エリア

- ・衣食住の悩み相談。
- ・移住費用などの補助金があると移住を考えやすい。
- ・単身者でも居住しやすいような間取り。
- ・冬の寒さが想像がつかないのですが、しっかりとした断熱や寒さ対策と、どの程度の準備や心構えが必要なのかの情報提供。

Cタイプ（夫婦のみ世帯）× 町の中心地

- ・コミュニティーがある。
- ・家族で移住する前にお試し期間として単身で賃貸に住みながら農業の経験をしたい。
- ・家賃の値ごろ感
- ・綺麗な住宅
- ・ペット可
- ・汲取りが多く水洗化が必要！
- ・立地等、便利な物件
- ・クラインガルデンのように眺望がよい場所は移住の大きな理由になります。立科町は本当に賃貸が少ない、というかほぼないので、住宅事情から競合各地に移住希望者を逃してしまうと思います。
- ・冬季も含む通年での生活に支障がない気密性があると良い。また家賃は低めであり、かつネット環境が整えられることが大切。
- ・家賃の値ごろ感

Cタイプ（夫婦のみ世帯）× 田園エリア

- | | |
|---------------------------------------|---|
| ・移住後、何年間かは家賃補助がある。水回り等
がリフォーム済み。 | ・低価格であり保証人不要。市営住宅や県営住宅に
空きがあって入りたくても入れない。せめて移住
者の多い長野県であれば移住者専用住居がもっ
ともっと必要かと思います。アパートやマンショ
ンが丸ごと移住者専用であってもいいです。引越
し費用や高速代等、移住の際に初期費用がとにか
く掛かります。そこを抑えたいとの思いです。 |
| ・戸建、水洗トイレ、光回線（インターネット） | |
| ・安全性 | |
| ・配管の老朽化（設備全般） | |
| ・禁煙 リフォーム済 移住補助 子育て世代以
外への補助 | |
| ・地域の方々との交流がスムーズに行えるような
環境整備を期待します。 | ・移住後のサポート |

5 まとめ

本調査において、地方への移住を希望する方々の望む住宅ニーズが確認でき、どのような暮らし方をイメージしているか、その一端を垣間見ることができた。定年後のシニア世代がスローライフを営む方法として地方移住を選択して家を探す傾向から、子育て世代・現役世代がより良い暮らしを求めて移住先と身の丈に合った住宅を探す傾向への変化は、コロナ禍以前から確認ができていたが、その傾向がより鮮明となった。

移住希望者をこれまでの移住相談の実績と経験から3つのタイプに分類することで、それぞれのタイプで望まれる住宅のニーズをおおよそ類型化することができた。

また一方では、移住先の住宅に対する多様なニーズも確認できた。家族の形や、テレワークの普及により仕事の形が多様化したことで、これまでは画一的だった移住後の暮らしのイメージにも大きな影響を与えており、移住希望者が望む住宅の形を多様なものになっている。

今後の移住者向け賃貸住宅の建設にあたっては、本調査の傾向をもとに、多様なニーズをできる限り反映した形での設置が望まれる。

移住者向け住宅の整備に向けた住宅希望アンケート調査
報告書

編集 立科町企画課地域振興係

〒384-2305 長野県北佐久郡立科町大字芦田 2532

電 話 0267-88-7315 (直通)

メール kikaku@town.tateshina.nagano.jp

発行 令和4年12月